

コミわか協力団体紹介④ ～若槻白バラ会～

明るい選挙を推進



白バラ会は明るい選挙を推進するため、地域に根ざした自主的なボランティア活動により選挙啓発を行っている団体です。昭和39年に初めて山形県で結成され、その後、全国の市町村に広まりました。若槻地区では各区から選出された27名の会員が活動しています。

今年は10月に衆議院議員総選挙と長野市長選挙があり、若槻地区白バラ会は、区長部とともに店舗・清泉大・高専での啓発活動、のぼり旗・ポスターの掲示、投票立ち会いを行いました。また、若槻地区の運動会にてキャラクターの「めいすいくん」を先頭に区長部とパレードをして啓発ティッシュを配布しました。大人気の「めいすいくん」、明るい選挙推進運動の「明」と「推」の文字が名前の由来です。

会の名称の「白バラ」は、明治時代に普通選挙の実現のために活動していた人たちが胸に白いバラを付けて奮闘、その後、昭和30年に開催された普通選挙30周年、婦人参政10周年の記念式典のシンボルに白バラが使用され、明るい選挙の象徴として用いられています。白バラの持つ清楚な感じが明るい選挙の目標のひとつである“清潔さ”を象徴するものとして、現在では広く一般的に使われるようになったのです。

「明るい選挙推進運動」とは

買収や供応といった選挙犯罪や、義理人情などによるゆがんだ選挙を排し、選挙が公正かつ適正に行われ、私たちの意志が政治に正しく反映される選挙を「明るい選挙」といいます。この「明るい選挙」を進めるための運動が「明るい選挙推進運動」であり、特定の政党、政策、候補者を支持したり、反対したりする政治活動や選挙運動とははっきり区別されるものです。

コミわか協力団体紹介⑤ ～区長OB若槻会～

区長OB若槻会は、区長を退任された方が入会する親睦会で、現在の会員は193人です。そのうち88歳以上は19人おり、最高齢は大正10年生まれの96歳です。コミわかでの活動は、退任してすぐの区長OBが参加する環境部主催で10月に行う河川・溜池水質調査があります。会の活動は、年度始めの総会、10月に行われる日帰りの研修旅行、忘年会が主な行事です。

区長の皆さんは、退任しても地域の活動を継続して行っていることが多く、まずは地区の神社の責任者や老人会の役員など、地元のための活動が待っています。また、コミわかでの役員、グリーンクラブ・朝市の会といったコミわかでの活動にも参加している方もいます。

今年度で終了となる「第一次まちづくり計画（H25～H29年度）」でも、現役の区長として、また退任しても何人かのOBの方は推進役として計画を担ってきました。次年度から継続して取り組むべく策定を進めている「第二次まちづくり計画」においても、何人かのOBの方々が参画をして計画立案を進めております。このように、区長OB若槻会は、コミわかでの活動において重要な役割を担っている会のひとつです。



河川・溜池水質調査

**ひまわり油、
販売します**

今年も、11月18日（土）のコミわか土曜朝市からひまわり油を900円で販売します。尚、JA直売店（長野駅）、JAあぐりながぬまでも販売（1,000円）します。（Noshinプロジェクト）